

すこやかちゃん



はると 晴翔ちゃん(平成21年4月28日生)
 両親=加瀬政人・幸恵さん〔神宮寺〕
 「いたずらが大好き☆たくさん食べて、
 元気に大きくなってね☆」



りお 吏桜ちゃん(平成21年4月19日生)
 両親=諸持欣央・朱美さん〔中谷里〕
 「お歌が大好き。乗り物も大好き。
 いつでもパワー全開です！」



ゆうひ 雄飛ちゃん・りょうが 凌駕ちゃん
 (平成20年1月17日生・平成17年5月19日生)
 両親=齋藤秀之・あゆみさん〔高生〕
 「春からお兄ちゃんと一緒に
 保育園に通ってます。」

すこやかちゃんを募集しています

掲載を希望する人は、秘書広報課広報広聴班(〒289-2595旭市二の1920・☎62-8070)へ。
 対象は、小学校入学前の幼児です。申込用紙は、旭市保健センター、飯岡保健センター、秘書広報課にあります。



ふるさとの自然

砂浜を彩るハマヒルガオ

2



市内の南側に広がる九十九里浜は、わが国を代表する砂浜の1つです。昔は広い砂浜がどこまでも続いていましたが、波に削られて、とても小さくなってしまいました。その対策として、沖合にテトラポッドを沈めた離岸堤や、岸から沖に伸びるヘツドランドが整備され、少しずつ砂浜が戻ってきました。それに伴い、姿を消したと思われた海辺の植物もあちらこちらで見られるようになりました。

春の盛りりの5月にまず咲くのは、豆の仲間のハマエンドウです。松林のへりなどに多く、近くで見ると鮮やかな紫色に目が吸い込まれます。

下旬には、砂浜の花の代表選手ともいえる、ハマヒルガオが咲き始めます。ピンク色の花が砂丘を覆うように、一面に咲く眺めは見事です。茎は砂に埋もれています。よく見ると長く伸びて、大きな株を作っていることが分かります。

麦のような太い穂がまっすぐに伸びたコウボウムギ、タンポポに似た黄色い花を付けるハマヒルガオ、ダイコンによく似たハマダイコン、香りの良いテリハノイバラの真っ白な花などが咲く5月は、殺風景な砂浜が最も華や季節です。

(齊藤敏一)

暮らしのカレンダー

- 3日(月) 憲法記念日
- 4日(火) みどりの日
- 5日(水) こどもの日
- 9日(日) 長熊春のヘラブナ釣大会(午前6時~)、母の日
旭市民陸上競技大会(午前9時~東総運動場)
- 16日(日) 東部五市体育大会(銚子市)
- 30日(日) 春のゴミゼロ運動(午前8時~)

編集後記

4月の異動により、初めて広報を作っています。取材デビューしたイベントなどを何とか記事にし、ほっとしたのもつかの間、何も書かれていない編集後記を発見。「……あつ、俺だ！」いきなりの大役を見事に、忘れていました。「自由に書いていいよ！」といわれたが……。どうする？ いっそ、自分を主役に、恋物語でも書いてしまおうか、ノンフィクションで……。(やりすぎです)。

こは、新米記者らしく、基本のあいさつ。皆さん、がんばりますので、よろしくお願ひします。(Y)